

ネイティブアルギン酸リラーゼ

Cat. No. NATE-0050

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、ポリ (β-D-マンヌロン酸) リラーゼ (EC 4.2.2.3) は、次の化学反応を触媒する酵素です: β-D-マンヌロン酸残基を含む多糖類の脱水素的切断により、末端に4-デオキシ-α-L-エリスロ-ヘキサ-4-エノピラノース基を持つオリゴ糖を生成します。この酵素はリラーゼのファミリーに属し、特に多糖類に作用する炭素-酸素リラーゼです。この酵素はフルクトースとマンノースの代謝に関与しています。

用途 アルギン酸リラーゼは、アルギン酸またはアルギン酸を分解し、粘度を低下させるために使用されます。これは、濾胞の分離、カプセル化、および培養中に役立ちます。

別名 アルギン酸リラーゼ I; アルギン酸リラーゼ; アルギナーゼ I; アルギナーゼ II; アルギナーゼ; ポリ (β-D-1,4-マンヌロン酸) リラーゼ; EC 4.2.2.3; 9024-15-1

製品情報

形態 粉末。

EC番号 EC 4.2.2.3

CAS登録番号 9024-15-1

活性 > 10,000 ユニット/g 固体

単位定義 1ユニットは、37°CでpH 6.3のアルギン酸ナトリウム溶液1mLあたり、A235nmを1.0に増加させる。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C